

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		16-	11
事業名	給食センター維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	10	1	3
施策	3	心豊かなまち	課名	教育総務課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名		
	3-1-2	教育環境の整備			
主要施策	④学校給食の充実				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学校給食センター	目的 (対象がどのような状態になっているか)	給食センター施設・設備の整備・充実を図るとともに、安全で安心な給食提供を推進します。
事業内容	今後、老朽化していく施設を長期的な視点に立った整備を行うものであり、約20年先を見通した整備方針を計画し、施設全体の長寿命化を図ります。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
		平成29年度(決算)		平成30年度(決算)	平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B				50,658	38,775	79,715	
財源内訳	直接事業費 A				50,064	38,181	79,121
	うち一般財源				50,064	38,181	79,121
人件費(千円) B				594	594	594	
内訳	一般職員(人・千円)		0.09	594	0.09	594	0.09 594
	臨時職員(人・千円)			0		0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	施設・設備の老朽化により計画的な改修が必要である。
②H30年度に実施した取り組み	老朽化した和え釜の取替工事を行うと共に女子トイレの改修修繕を実施しました。	④今後の改善計画	施設・設備の計画的な改修を行う。